

～ Serving the Community and Supporting the YMCA since 1976 ～

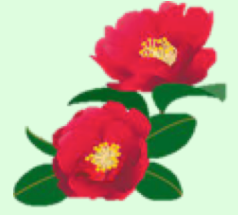


埼玉ワイズメンズクラブ

Saitama Y's Men's Club

月間テーマ : *Experiencing Joy of Togetherness*

2025
11月



2025-26 年度クラブテーマ「市民と繋がろう・市民に知らせよう」

第26回チャリティ・ラン @ 所沢航空記念公園

11月3日文化の日は埼玉 YMCA 恒例の全世代向けのチャリティラン。今年で26回。秋晴れの日、子供もお年寄りも、身体が不自由でも、言葉が不自由でも、誰もが楽しんだ。応援のはずがつい参加したくなる不思議なひと時だ。今号は水無瀬メンが若い頃の大変な思い出をエッセイで紹介。



[写真メモ] 右上と下の集合写真は埼玉YMCAの報告の写真。小野塚所沢市長の合図でスタート。埼玉クラブはチーム出場費を支払って「たんぼぼ」の若者に代走してもらった。当クラブからは上松・浅羽が参加しコースを2周歩いた。(1周約1キロ)

今月の聖句

「まことに、あなたがたに言います。すべてのことが起こるまで、この時代が過ぎることは決してありません。」

ルカの福音書 21章 32-33

12月「クリスマス」特別例会

日時：12月15日(月) 10:00～12:00

会場：「き咲きてらす」

プログラム：「つながろう・よろこぼう」



12月 夜談会

日時：12月8日(月) 午後6時～8時

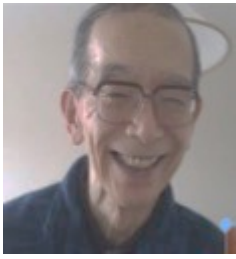
会場：サイゼリア(浦和駅東口)

▽ 気楽に知り合い、笑いながら見識を深めるさばけた市民の出会いと集いの場(覗いてください)

◆◆◆◆◆ イッセイズ ◆◆◆◆◆

◆ 「大先輩との思い出」

水無瀬 隆造 メン



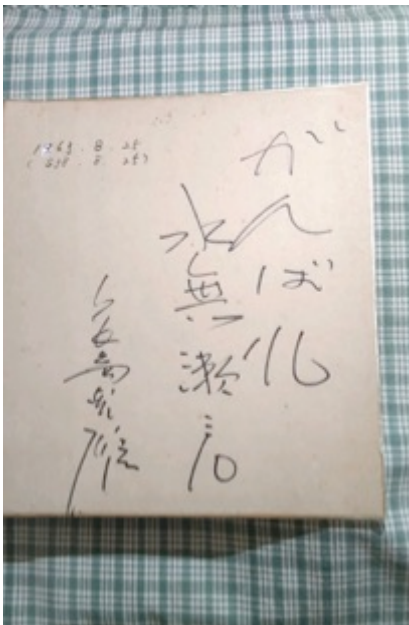
故長嶋茂雄先輩は立教大学の超有名人であり、又国民的スーパースターであります。天国に召された事は誠に残念であります。深く哀悼の意を表します。今年の召天者で懐しい思い出の人を記します。

私は大学4年の折、就職も決まり、何かアルバイトをしたいと学生部を訪ねました。学生部より、読売巨人軍のお世話係の求人があるとの紹介を受けました。当時私は関西出身で、阪神球団のファンでありました。アルバイトとしては、野球が無料で見られるので、面白いと思い勤めました。仕事は、巨人軍選手の球場内でのお世話でした。当時、まず驚いたのはスター選手長嶋と王選手は別格で、毎回夕食メニュー3品が決められており、当日は何にされるかを長嶋、王両選手のもとに行き、その日のメニューから決めてもらい、食事を届けることでした。当初は長嶋選手とは巨人軍アルバイト生として接していました。ところがある日女性職員が長嶋選手に「この人長嶋さんの後輩ですよ」と紹介してくれました。長嶋選手は、「おおそうか。よく働いてくれるね」と言って、以後親しく接して頂きました。

ある日、長嶋選手から後援会の人があるので、と入場切符を3枚託されました。指定された時間に受け付けに行くと、客人3名に無事渡す事が出来ました。当日試合が終わり、選手たちが帰路につく時に、わざわざ小生のところまで来られ、「今日は大変お世話に成りました。ありがとう。」お礼を言われました。私は大スター選手が一アルバイト学生に帰る

際、わざわざお礼に来られたそのお人柄に感激。その日から長嶋選手のファン、そして巨人軍ファンとなりました。又長嶋選手から、有名になっても「謙虚」「優しさ」を持つ事を学びました。
(以下次号に続く)

* 長嶋選手の色紙。
水無瀬メンは立教大学を1965に卒業。



◆ 「第3回 NOMPO を終えて」

浅羽 俊一郎 メン

11月16日(日)に3回目のNOMPOを見沼田んぼにて挙行了した。

思い返せば、2年前、他人同士が歩きつつ自然と親しく話せるような体験がしたいと、色んな方に相談し、ようやく去年の11月に初の試みとして武蔵浦和駅から別所沼公園を回るコースを市民の皆さんと歩いた。少人数だったが、参加者は珍しく面白かったと評価してくれた。自分も色々学んだ。

ついで今年3月のコースでは北宿大橋周辺の農道と芝川の土手を歩いた。またこの企画の名称をNOMPO (のんびり散歩) とローマ字表記にした。「てらす」の常連が参加してくれて嬉しかった。

で、3回目はコースの設定には常連が相談に乗ってくれた。この地域を熟知している。午後2時から4時まで秋空の下、木崎橋から大道西橋を渡り、芝川の土手から三崎公園を抜けて、「てらす」で解散した。途中参加者の一人が経営するガーデンで「ふるさと」を一緒に歌った。今回は外国人一家、ストックを支えに歩く方、幼児などを皆で見守りながら散歩できた。また皆本当によくしゃべった。

* 埼玉クラブの皆さんの応援に心から感謝します。



左上：2024.11.17 (初回)
右上：2025.3.23 (2回目)
左と下：大道西橋 (今回)



◆AI で民主的手続きを体験：韓国の学生たち

韓国大学YMCA全国協議会は、20以上の大学YMCAと4つの都市YMCAと今年の7月に「2025 年若者宣言：日常生活から」を共同で発表した。この企画は若者の多くが抱く政治への幻滅や疎外感を踏まえ、AI と匿名のオンライン対話を組み合わせて、入りやすくした。まず130人余りの若者が参加して意見を出してくれた。様々な生活上の不満や構造的な不平等が浮き彫りになった。社会の要請する厳しい基準、地域間の教育格差、学業と就活とアルバイトで超多忙、若者の多くが心の病いを患っている、など。AI が意見を分析整理し、それをもとに若者9人のチームがマニフェストを作成した。

大学YMCA 全国協議会会長のウテク・イム氏はこのプロセスを振り返る。当初は「何を訴えればいいのか？」と困惑していたが、物語が生まれ、それらが積み重なっていくにつれて、マニフェストの作成自体が民主的なプロセスの訓練になったことを実感した。また若者が雇用や住宅の問題だけでなく、アイデンティティや精神面の健康においても危機的状況にあると言う。「私たちは今日若者が直面している問題を共に訴える道を選んだのです。私たちは単なる受益者ではありません。私たちは市民です。今こそ社会が対応すべき時です。」



マニフェストは6つのテーマについて訴える。

1) 不安定雇用と労働者の権利、 2) 住宅不安と空間的不平等、 3) 教育格差と地域格差、 4) 気候危機と環境的不公正、 5) 政治において若者の声を代弁する者の不在 6) 過度な競争社会によるメンタルヘルス。

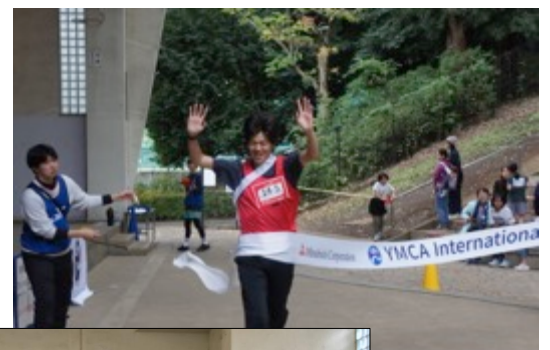
マニフェストは次の言葉で結ぶ。「これは終わりではなく始まりです。私たちは変化を求める声をあげます。共感する全ての人々に、より公正で包摂的な社会を築くために、共に歩むよう呼びかけます。」

* 本文は今年7月16日の記事です

* 英文記事をグーグル翻訳したところ3 ページ超。それを半ページに圧縮抄訳しました。原文は“AI, Anonymity and Action”で検索して読めます。(浅羽)

穏やかな秋晴れの11月3日、所沢航空記念公園で『第26回埼玉 YMCA インターナショナル・チャリティーラン』が行なわれた。木々の間を走る公園内の特設ランコース上には赤や黄色の落ち葉やどんぐり、銀杏が散らばり、足を取られないように気をつけながらも、気持ちよく走ることができた。チームランではいつも顔を合わせている気心の知れた仲間と気持ちを一つにタスキを回すチームや、この日初めて顔を合わせたチーム(代走ランナーによる構成)もお互いにエールを送りながらゴールを目指していた。今年の個人ランは参加種目を3つ設定し、ウォーキングポールを手ににこやかにマイペースで歩く方、自分の記録にチャレンジする方など、それぞれの楽しみ方で参加される姿が多くみられた。埼玉ワイズメンズクラブの皆さんには今年もチームスポンサーとして特別支援活動グループ「たんぼぼ」の参加を後押ししていただいていることに感謝！集められた支援金でより多くの子どもの笑顔が増えることを願う。

エントリー14チーム、個人種目46人、ボランティア22人 支援金総額 895,641円(11月7日現在)
(チャリティーラン事務局 大井恵美子)



活動・会議メモ

◆ 11月「夜談会」



11月10日（月）浦和駅東口側のサイゼリアで月例「夜談（ヨルダン）会」を開催。今月は8名。まず浅羽が用意した新聞の切り抜き「友達募集」とクイズ「高校生にとって友達の条件とは？」でスタート。そこから話は自由に展開。後半は澁谷メン（所沢クラブ）からアピール。澁谷メンが牧師を務める久美愛教会に隣接する障害児施設「久美愛園」について改修工事のためにクラウドファンディングをスタートした。11月末まで募金中とのことだった。因みに今時の若者にとって友達の条件は

- 1位 本音で話せる、
- 2位 沈黙が気まずくない、
- 3位 礼儀・マナー

（「スクール・オブ・ロック」2013アンケートより）

* 後日澁谷メンから目標 300万円達成との報告あり。

出席：浅香、澁谷、浅羽 m、工藤、衣笠、高岡、上松、浅羽

◆ 11月「さざんか」例会

11月17日（月）浦和パルコ9階の市民活動サポセンで月例会を持った。今回はクラブメンバーだけの例会でクラブの運営について話し合った。

1) 50周年記念の件。色々意見が出たがまずは日時を話し合い、候補日時として2026年10月30日（金）午後2時とした。会場としては小峰ビルや関係する教会などが上がった。次期会長の衣笠メンを中心に計画を進める。

2) YMCA と埼玉3クラブ有志による懇談会の件。まず浅羽が10月はじめに3クラブ会長と太田総主事と話し合ったことを紹介。YMCA 職員と Y's メンとの人的交流が全般的に希薄になっており、YMCA 支援団体としてはもっと職員と近くなり、YMCA の職員が抱える課題を知り、会員としての協力のあり方を探りたい。そのため来年1月にワイズと職員の有志で懇談会を開いてみる。初めての試みとして

双方が親しくなれるような会にする云々。そのあとメンバー間で意見交換。クラブ担当主事の櫻井メンは長年の YMCA での仕事を通して見たワイズの活動や職場のことなど語ってくれた。通常の公益団体は職員と利用会員という関係が一般的だが、YMCA はその創立時から会員主導だったし、今も「協力」会員は YMCA に利用してもらえる人材であろう。双方で会員を増やし、そのモチベーションを引き上げる方法を模索したい。話し合いは続く。

3) その他。

・クリスマス。12月の月例会をクリスマス祝会として日頃つながっている方々を交えて開催する。

* 日時：12月15日午前10時

* 会場：「き咲きてらす」*会費制

・ジェンダー学習。これからも続けたい。



[メン] 浅羽、伊藤、上松、衣笠、櫻井、高岡



仲間からの便り



◆ 水無瀬メン 浅羽会長から久しぶりに対面で会おうとメールあり。遠出はまだ難しいが、自宅近くに集まれる場所があるから是非そこで、という話になった。詳細はこれから他のメンと詰める。

統計	出席	会員	ゲスト/ビジター
11月夜談会 (11/10)	8	4	4
11月例会 (10/17)	6	6	0



ワイズメンズクラブ 案内

ワイズメンズクラブ国際協会 (Y's Men International) は青少年教育団体 YMCA を支援する国際的奉仕クラブで、若者と地域への奉仕と、国内外の交流を大切にします。肩書き/性別/政治/宗教/年齢差を問わず皆対等です。奉仕活動に挑戦してみたいという方に向いています。埼玉クラブは浦和区を拠点に活動しています。先ず月例会の雰囲気を感じてください。年会費4万円ですが、ゲストでも皆と一緒に楽しく活動できます。

* 詳細は浅羽会長まで。(090-7426-5553)